

新地町縄文文化企画展2024

「新地貝塚は 縄文文化研究の聖地」

元県立博物館専門学芸員

南相馬市鹿島区鎮座 伊勢大御神宮司

森 幸彦



新地貝塚と三貫地貝塚の位置

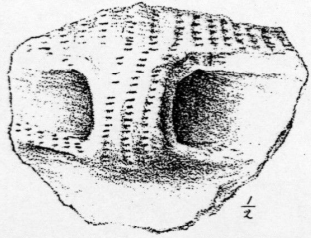
新地貝塚

- ・ 『奥羽観蹟聞老誌』（佐久間義和 1719年）に記載あり
- ・ 明治23年に若林邦勝が発掘調査
- ・ 大正13年に小金井良精、山内清男らが発掘調査
この折に三貫地貝塚も同時調査（ビール箱10箱分）
- ・ 縄文時代研究の基礎的資料
山内清男「私はこの発掘が、私の出会った最も愉快的、
そして最も有益な一つであったことを確かめる。」
(磐城国新地村小川貝塚発掘略記)

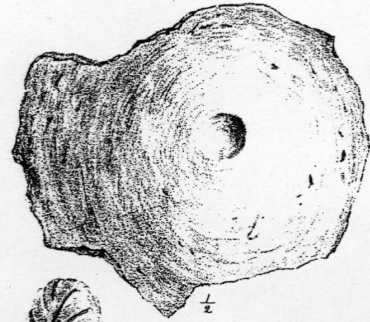


大正13年の新地貝塚

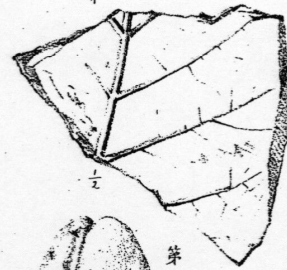
圖一十第



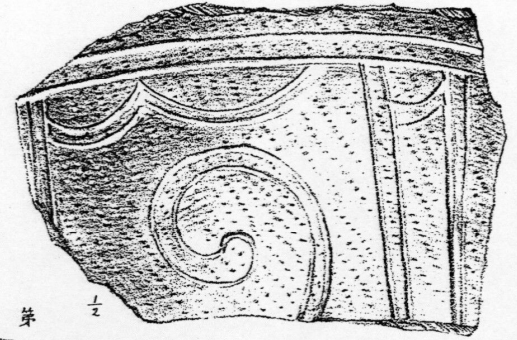
圖九第



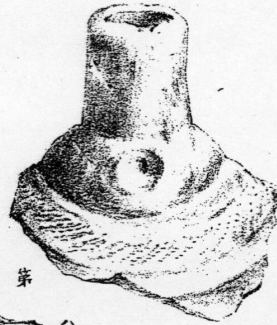
圖四第



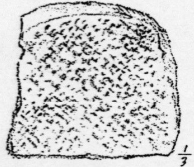
圖一第



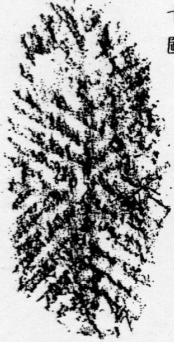
圖七第



圖四十第



第十圖



圖八第

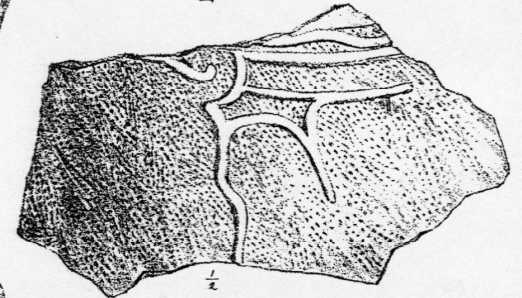


第五圖

圖四第



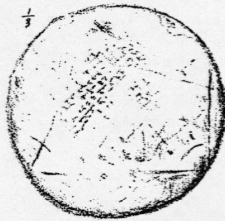
圖二第



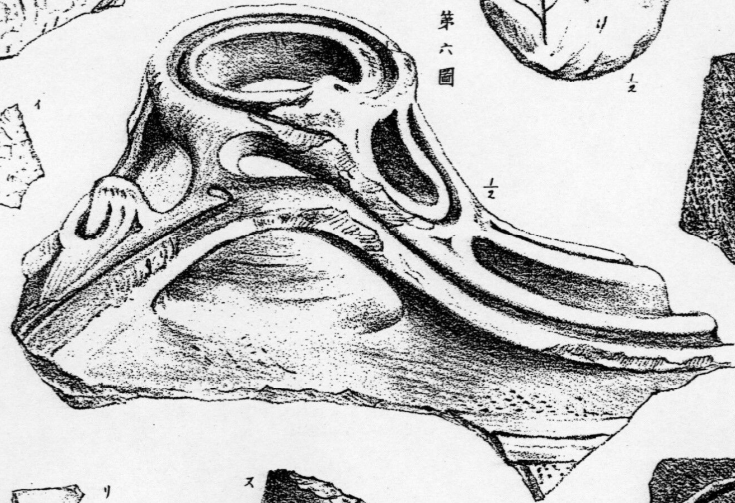
第十二圖



圖三十第

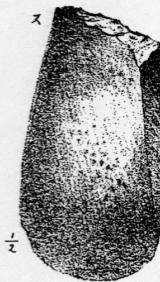
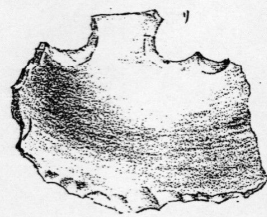
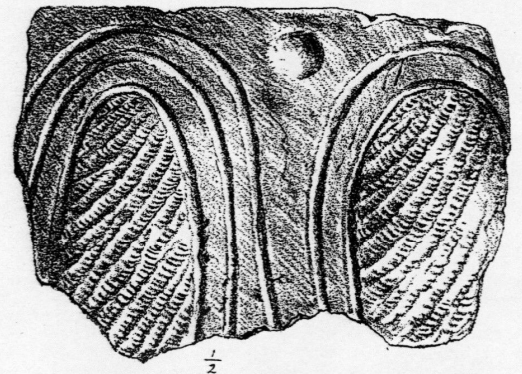


第六圖



第二圖
貝塚
敷
屋敷
見
り
土
部
の
腕
部
に
浮
紋
を
存
す

圖三第



ラ

1/2

ト

ホ

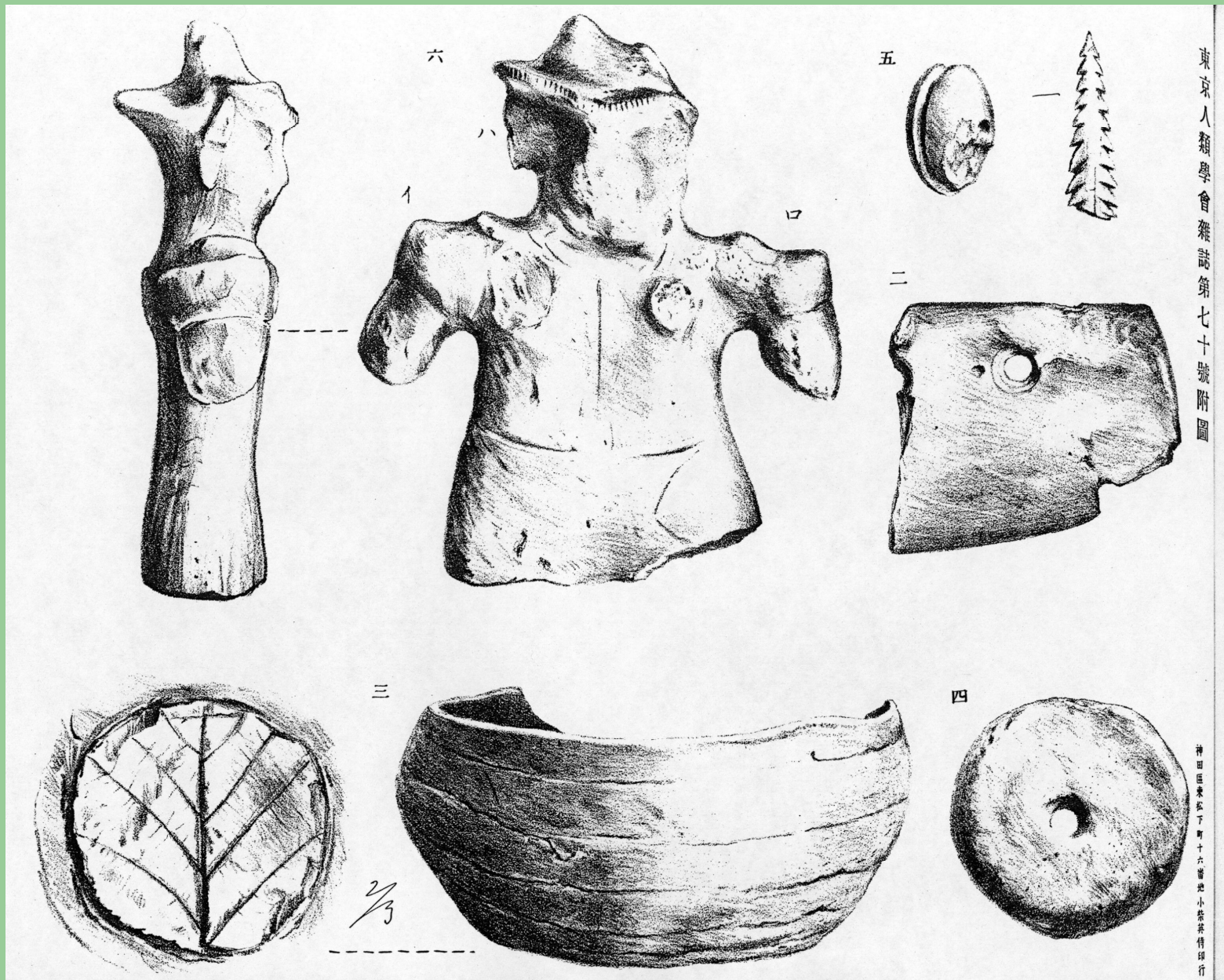
リ

ス

チ

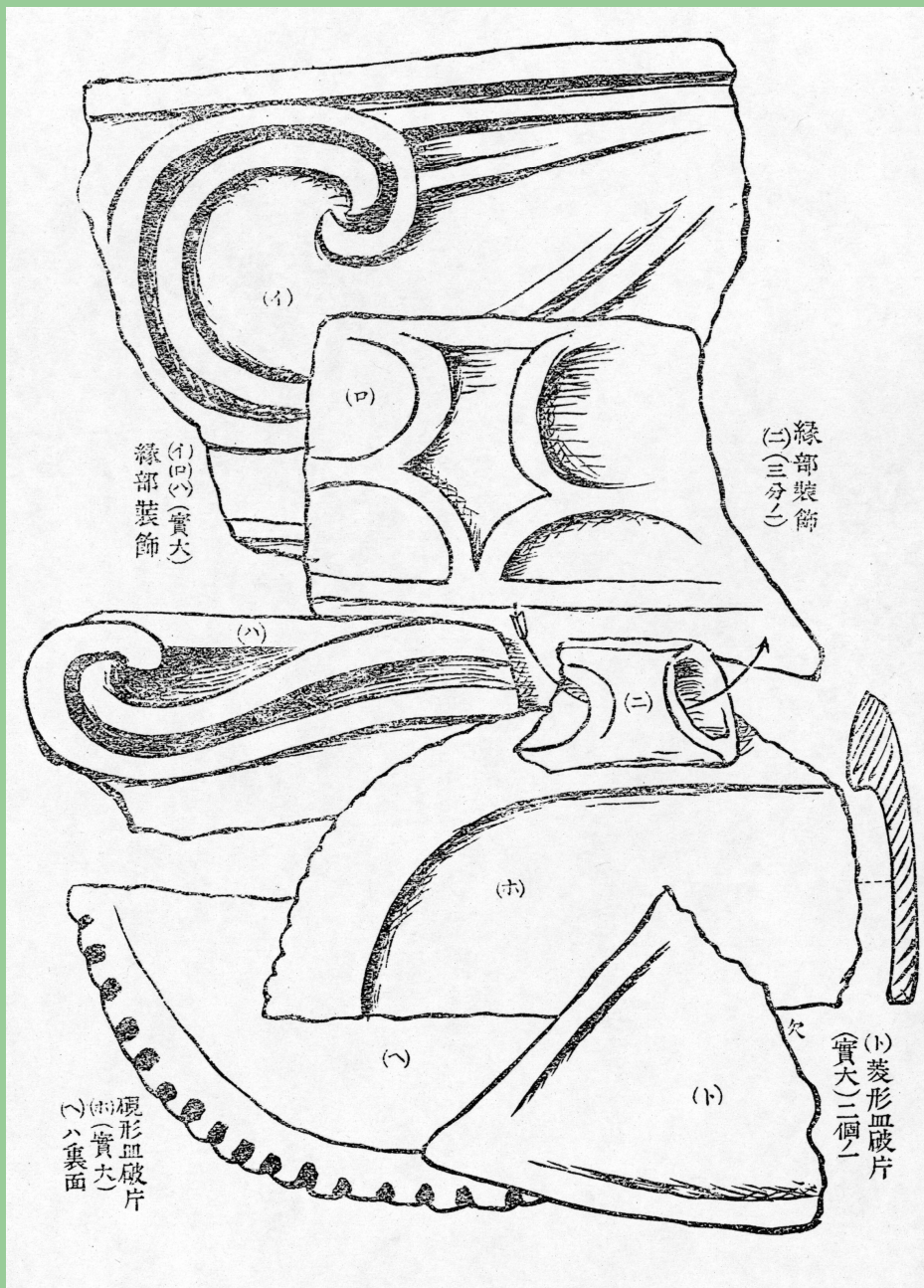
明治23年に紹介された新地貝塚の出土品

若林勝邦「磐城國宇多郡新地村貝塚発掘の話」『東京人類学会雑誌』第57号



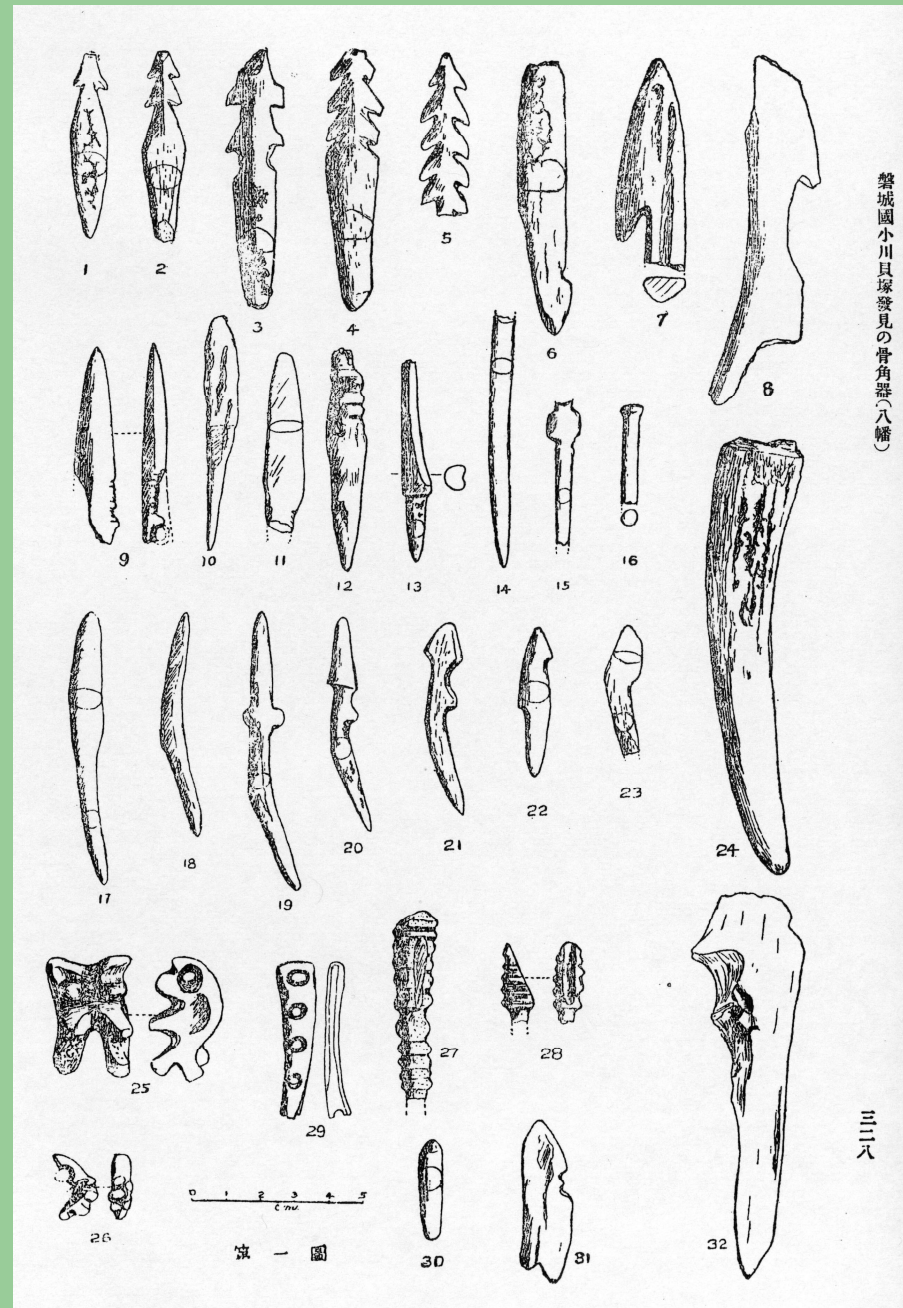
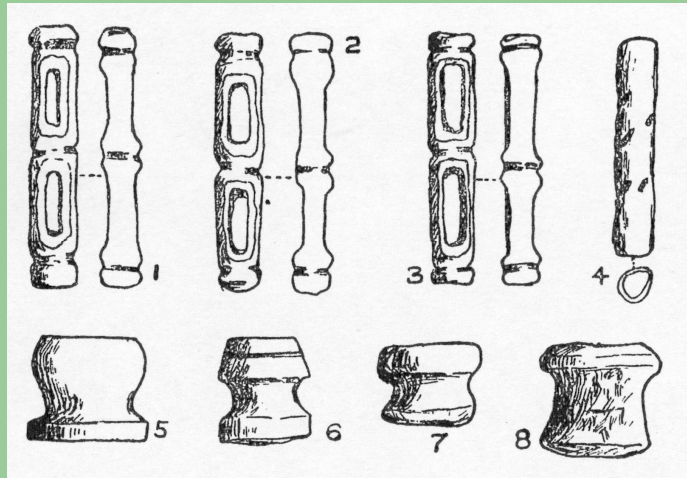
明治25年に紹介された新地貝塚の出土品

若林勝邦「磐城國宇多郡新地村貝塚続報」『東京人類学会雑誌』第70号



明治28年に紹介された新地貝塚の出土品

舘岡虎三「磐城新地貝塚探求報告、前号ノ続、完」『東京人類学会雑誌』第102号



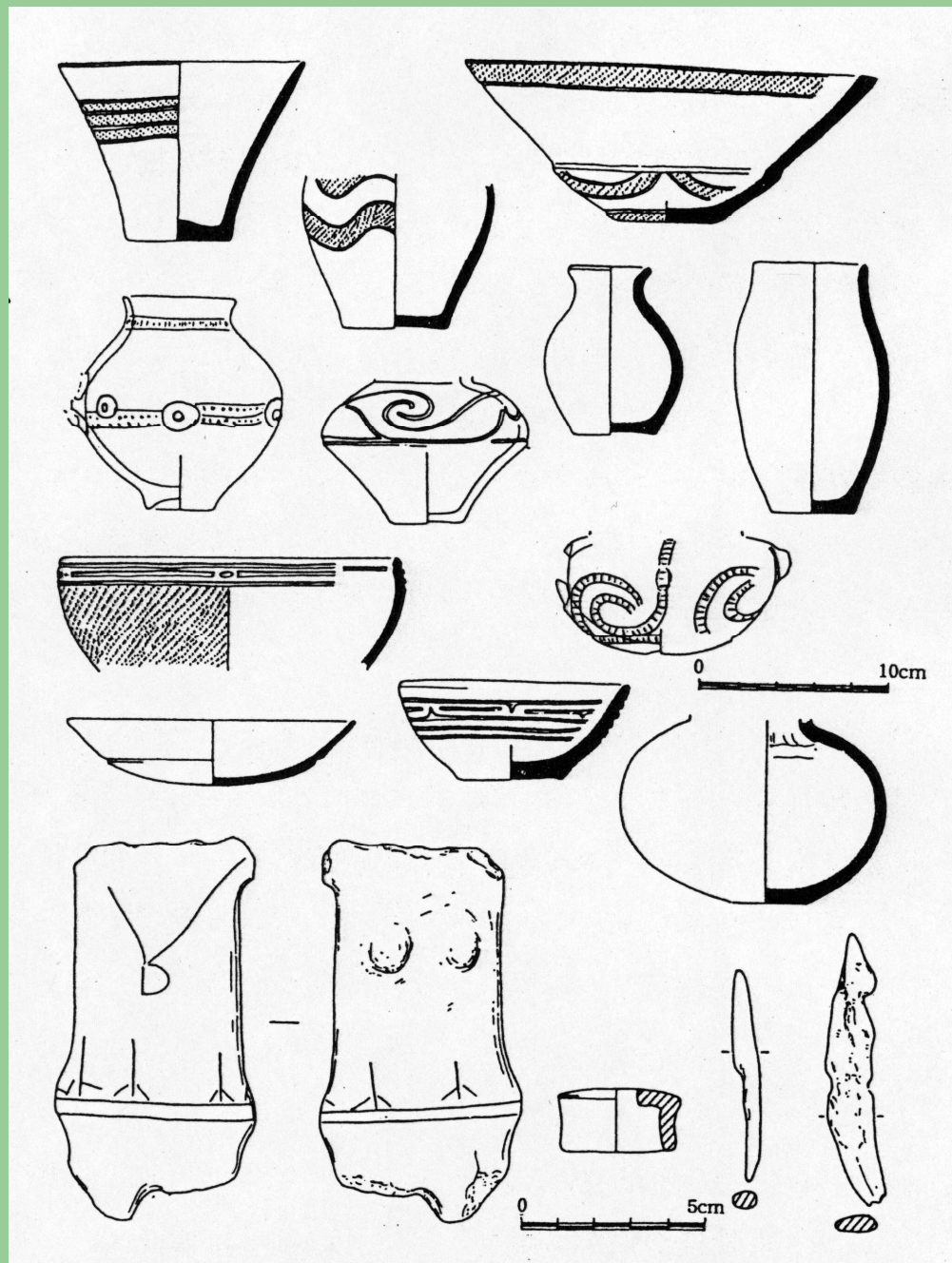
大正14年に紹介された新地貝塚出土骨角器
 八幡一郎「磐城國小川貝塚発見の骨角器」『人類学会雑誌』第9号



大正13年の発掘調査で出土した壺形土器



大正13年の発掘調査で出土した壺形土器と深鉢



新地高校旧蔵新地貝塚出土品

志間泰治「新地貝塚の出土遺物」『福島考古』第25号 1984年



川窪遺跡の土偶（どぐう）



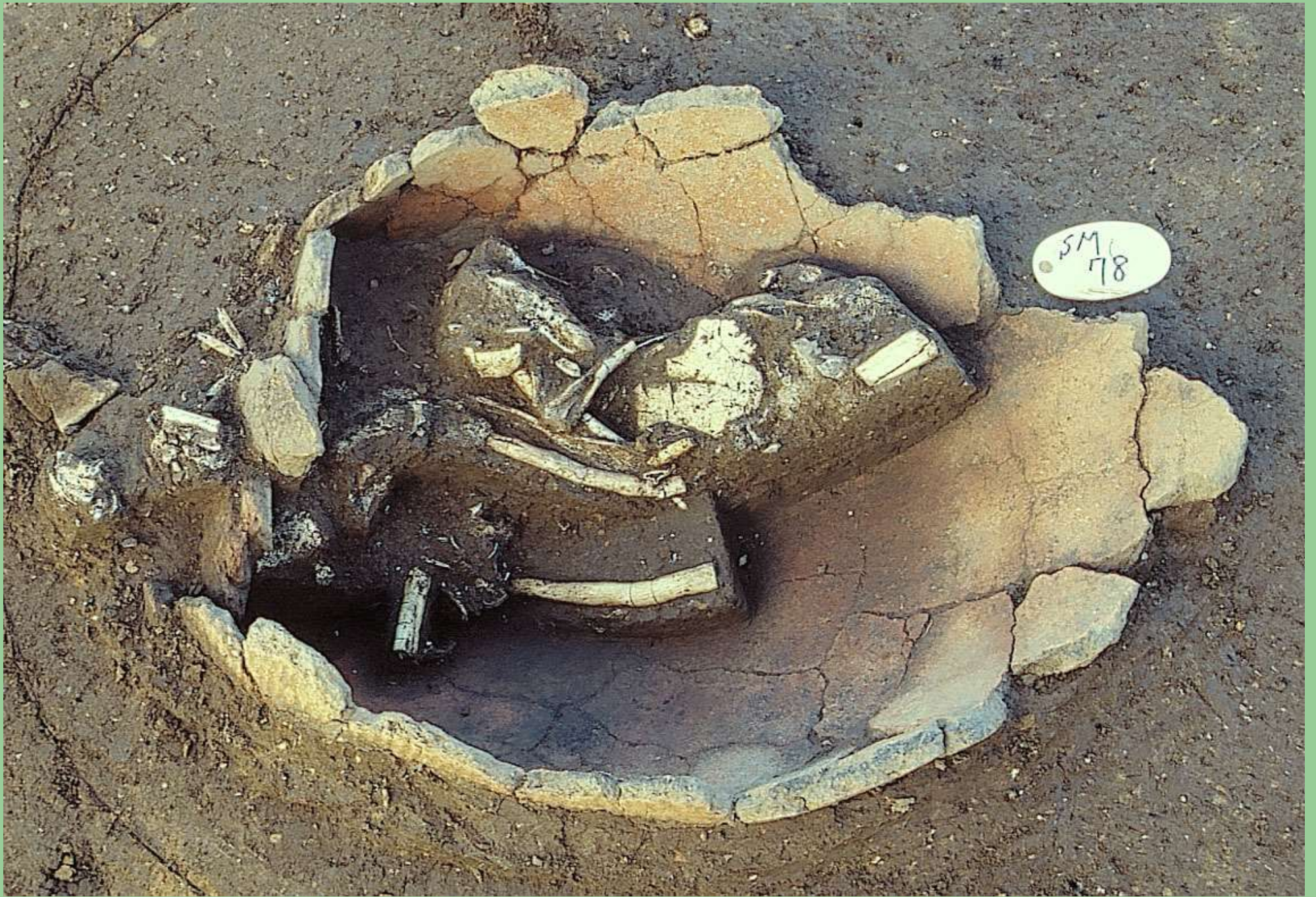
柳津町石生前遺跡出土



郡山市荒小路遺跡出土



川窪遺跡の土偶（どぐう）



埋甕（うめがめ） 飯野町和台遺跡

三貫地貝塚



三貫地貝塚と鹿狼山 新地町



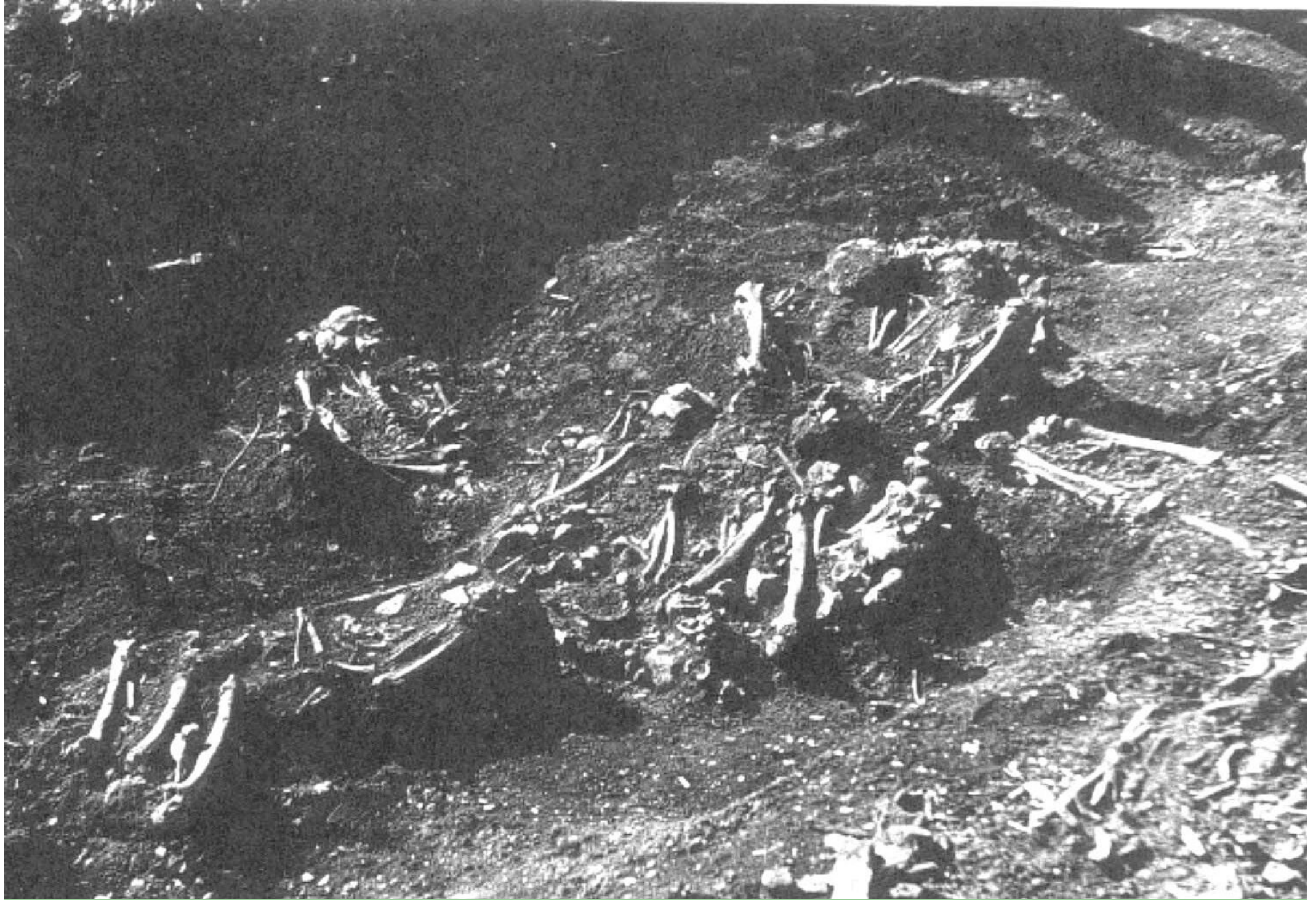
1. 調査風景 (Aトレンチ第2区
左奥から埴原和郎、鈴木啓、手前伊東信雄、加藤孝)



昭和27年、三貫地貝塚発掘調査のようす



三貫地貝塚調査時の記念撮影



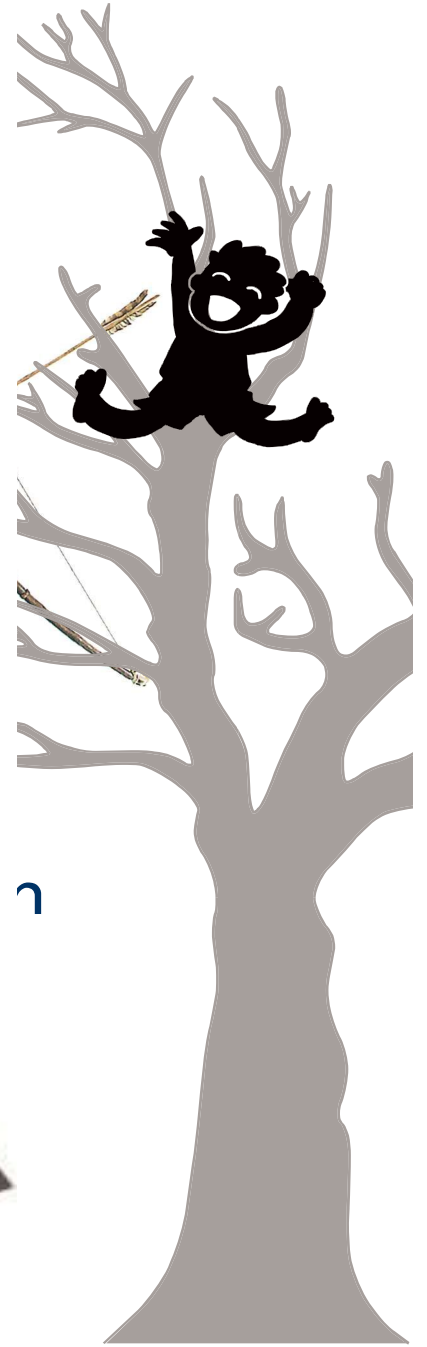
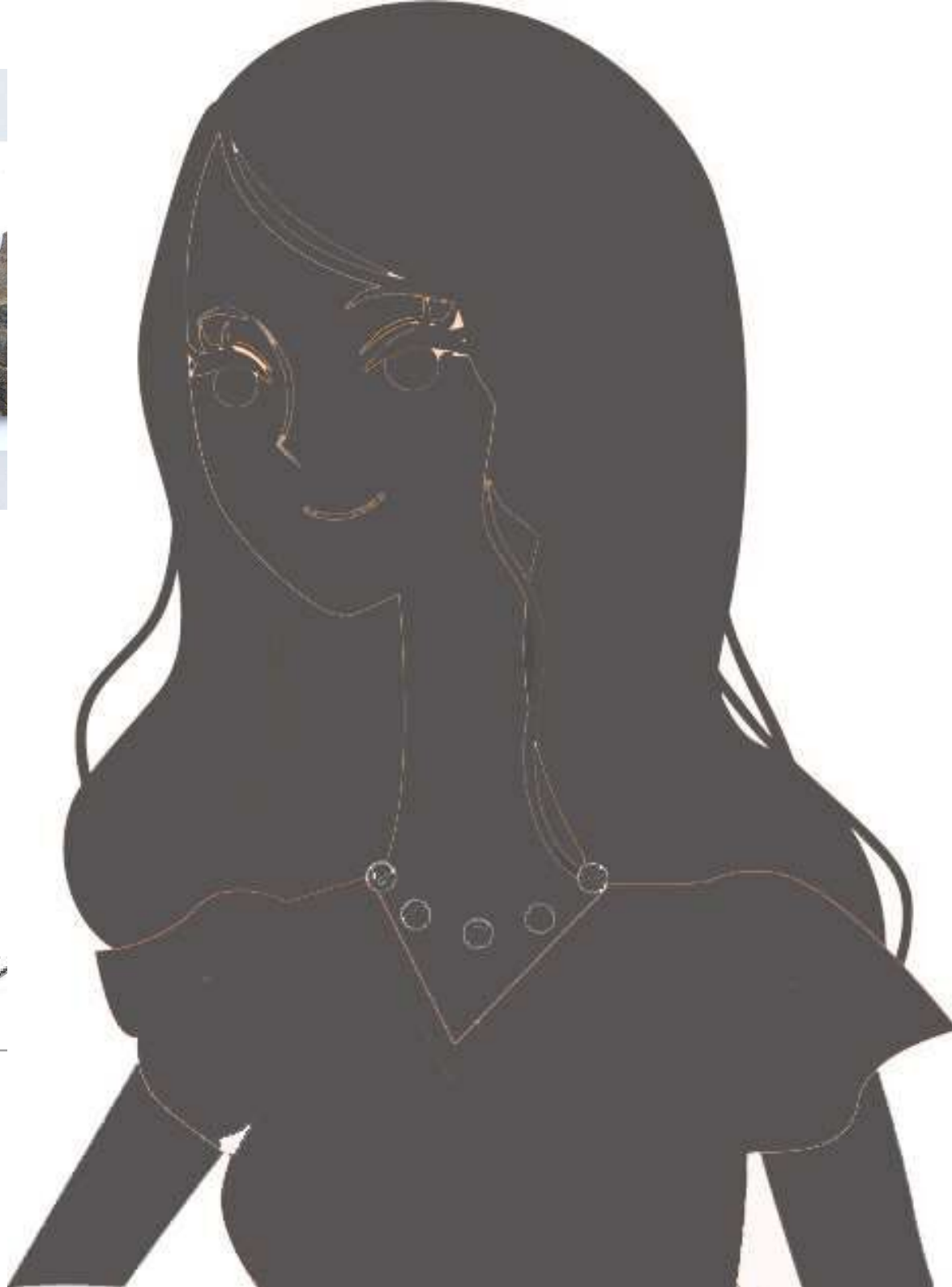
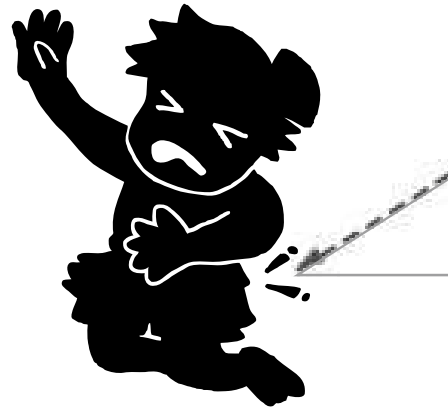
人骨の検出状況 新地町三貫地貝塚



新地町三貫地貝塚22号人骨



新地町三貫地貝塚22号人骨の腰の骨



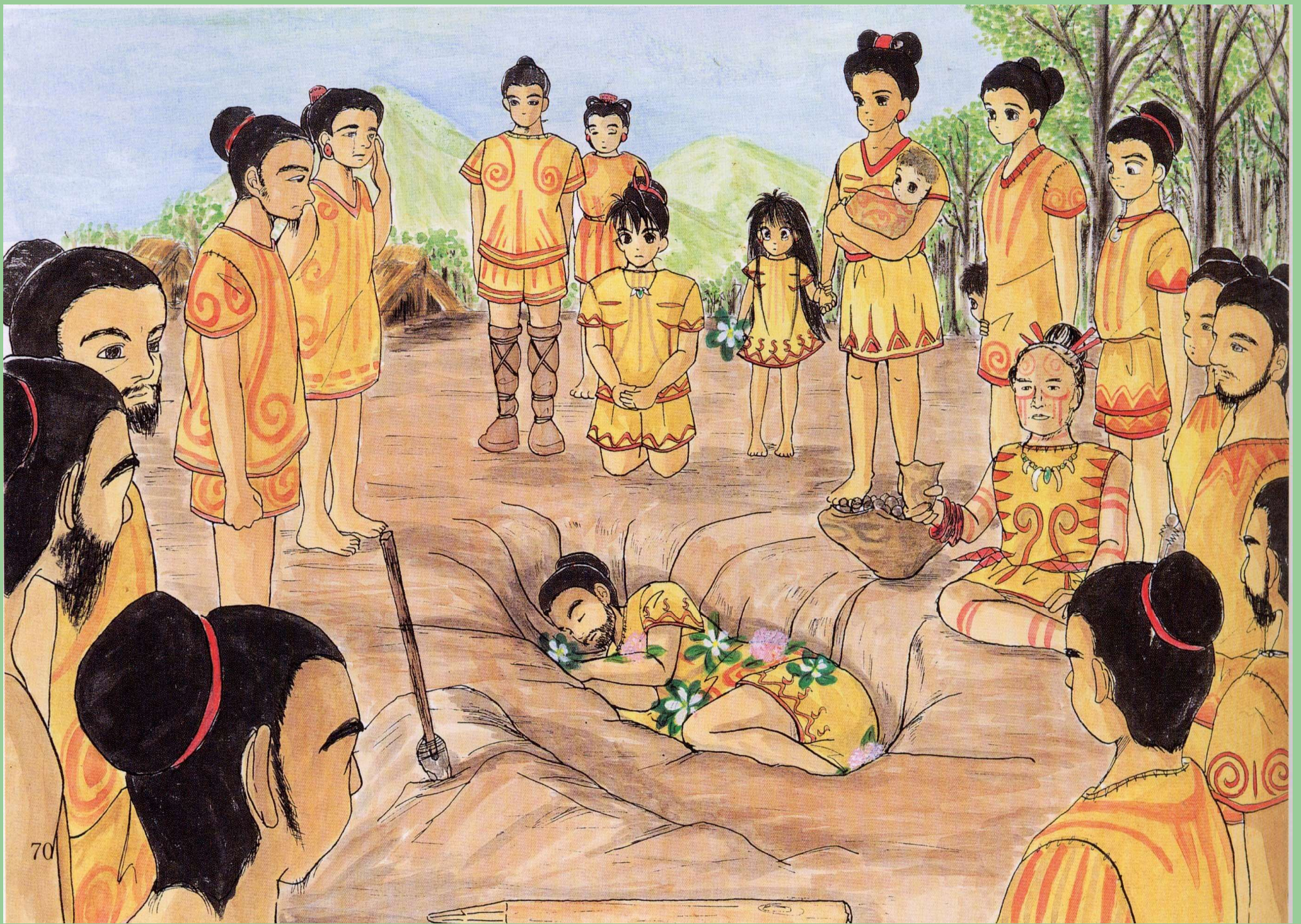


上ノ八月 新地町二貝地貝
塚

縄文犬・藤丸

モデル 栃木県藤岡町藤岡神社遺跡出土犬骨

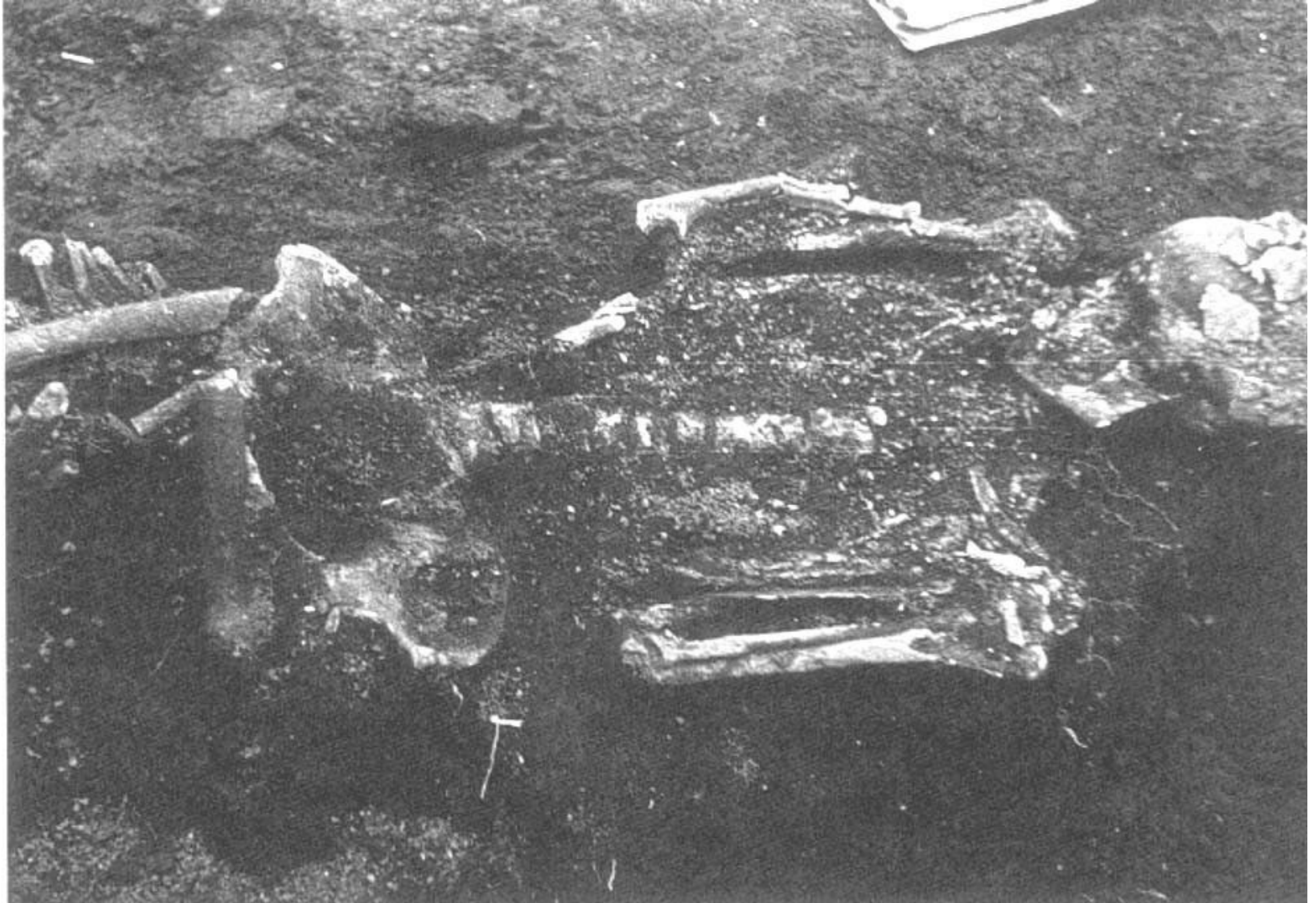




縄文人の埋葬のようす



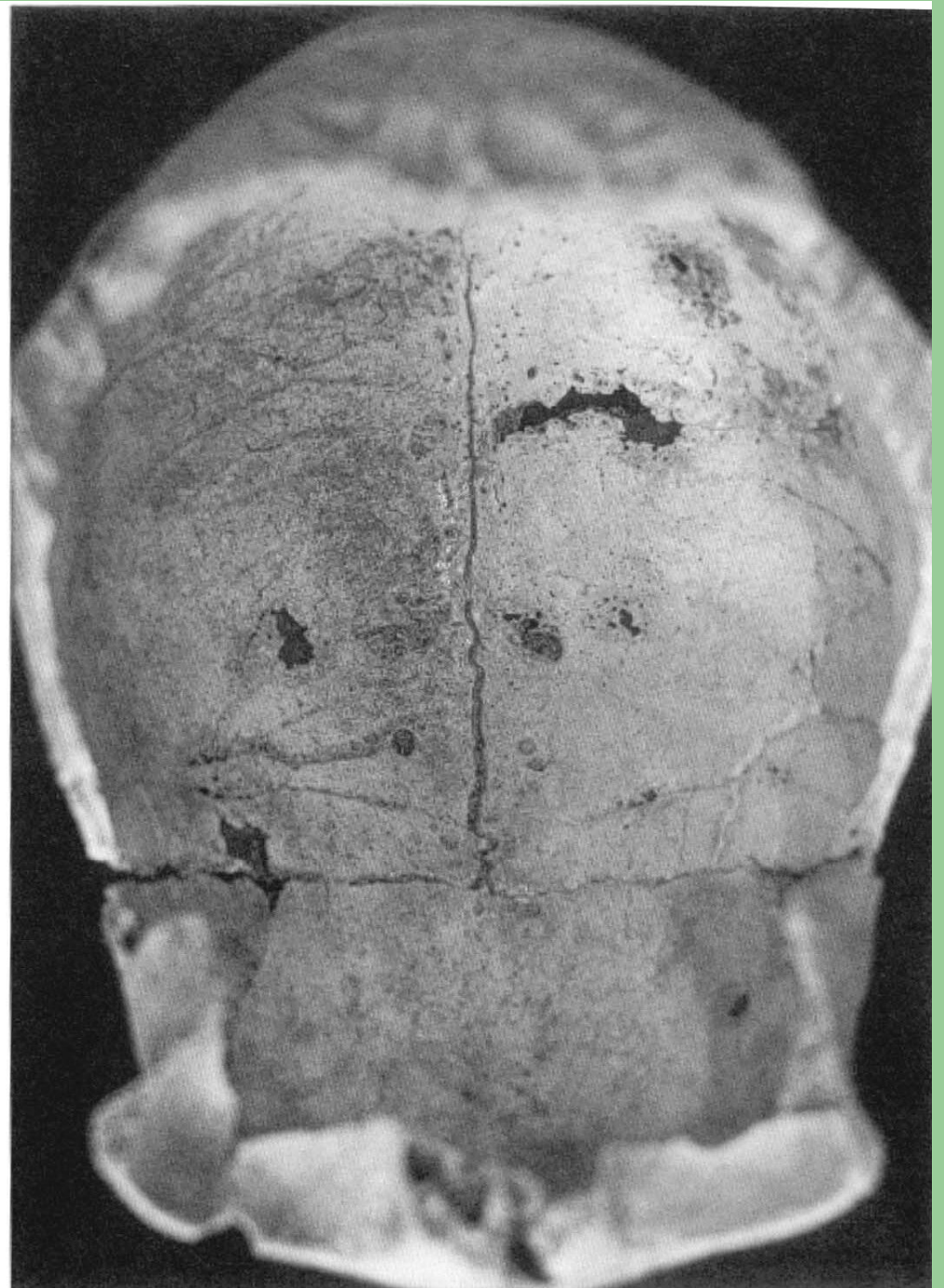
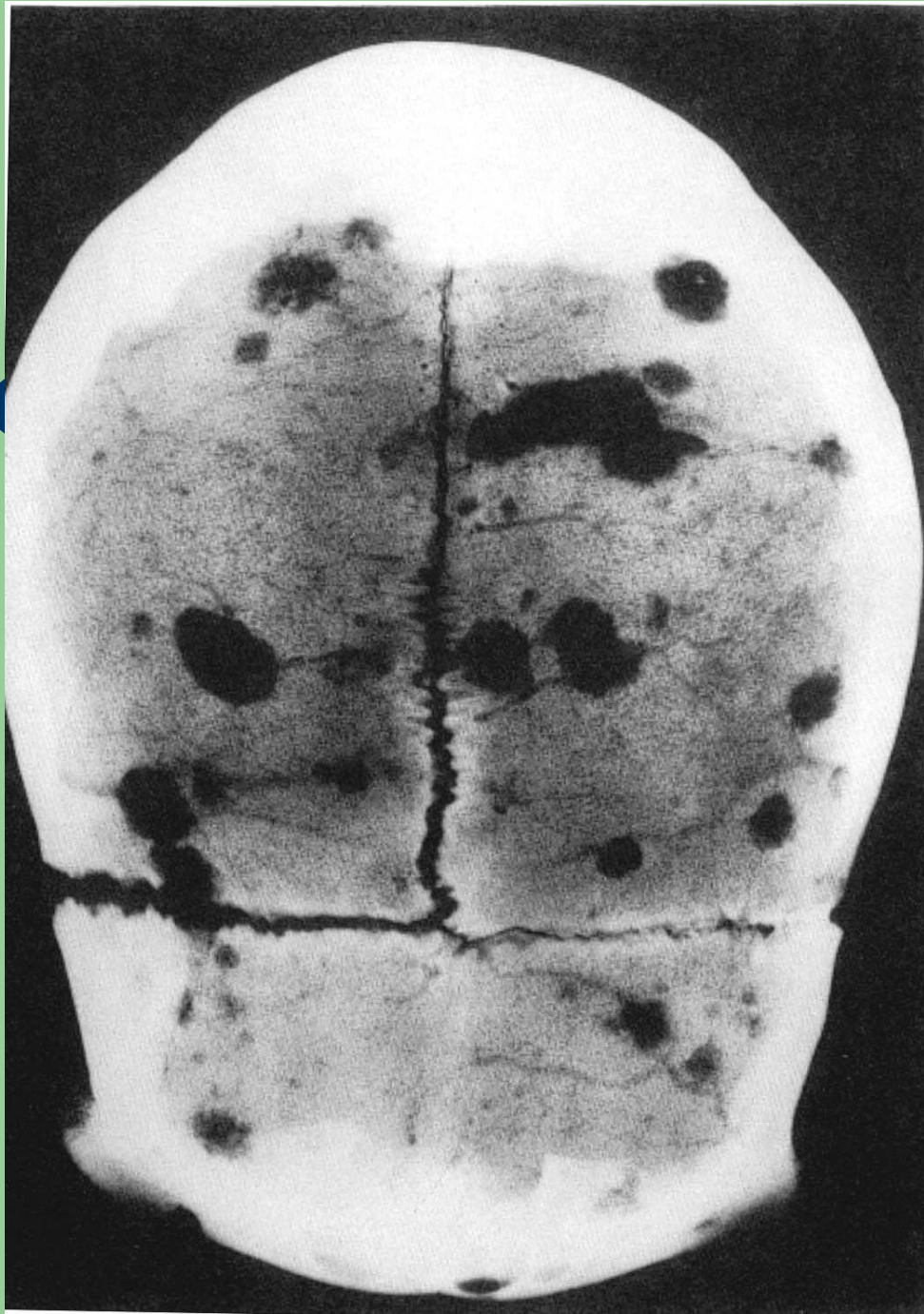
3号人骨 新地町三貫地貝塚



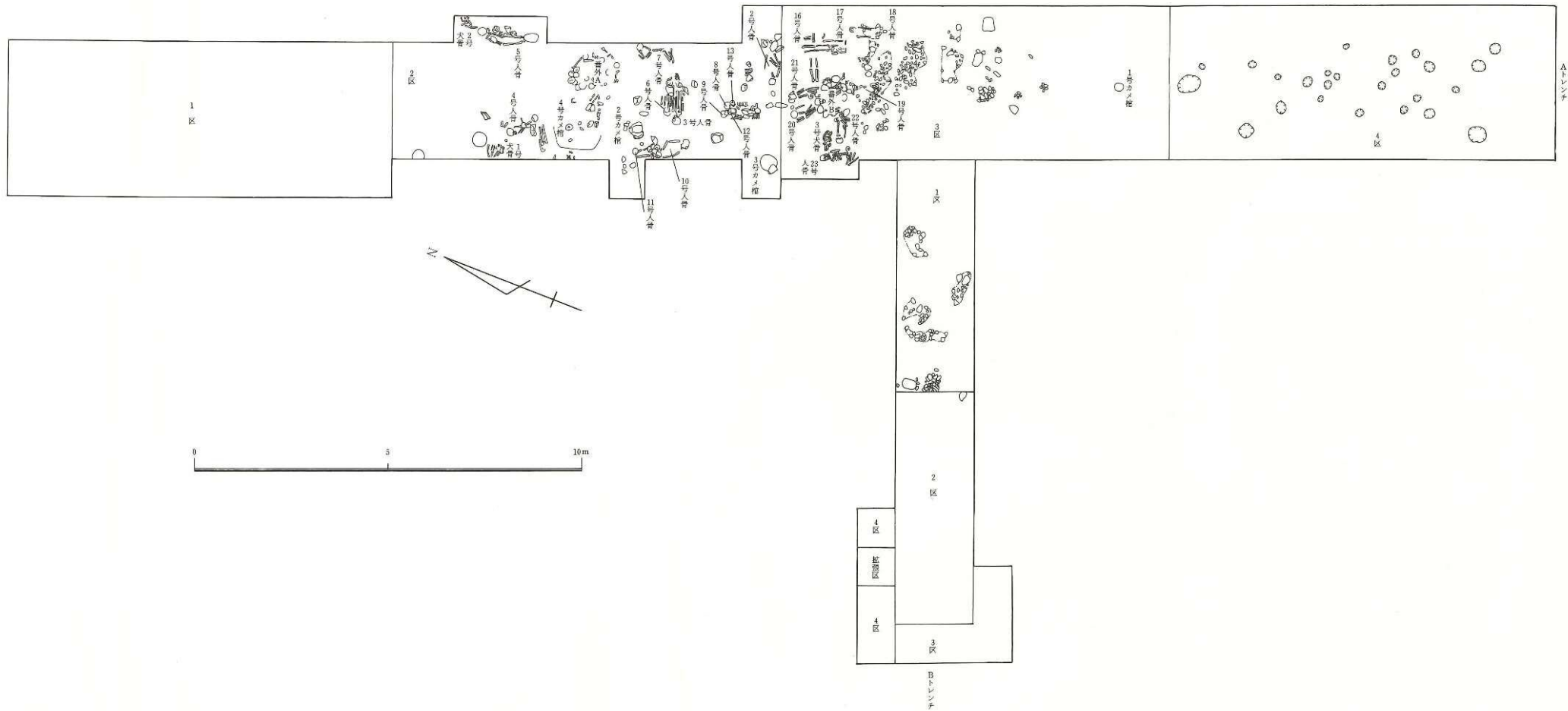
6号人骨 新地町三貫地貝塚



集積された人骨 新地町三貫地貝塚番外B人骨

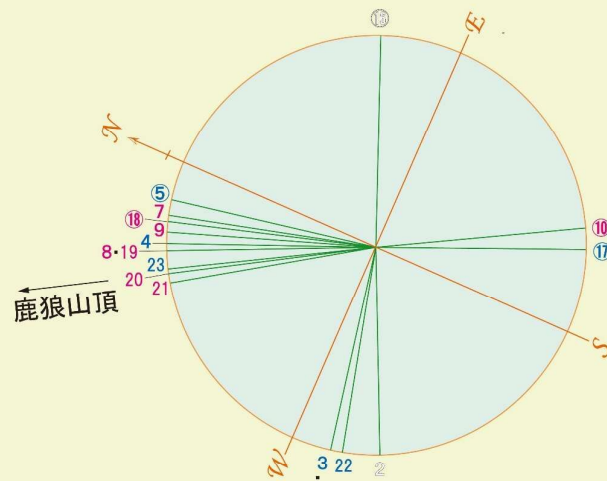


番外B人骨（成人女性）の頭部（左はX線写真） 新地町三貫地貝塚



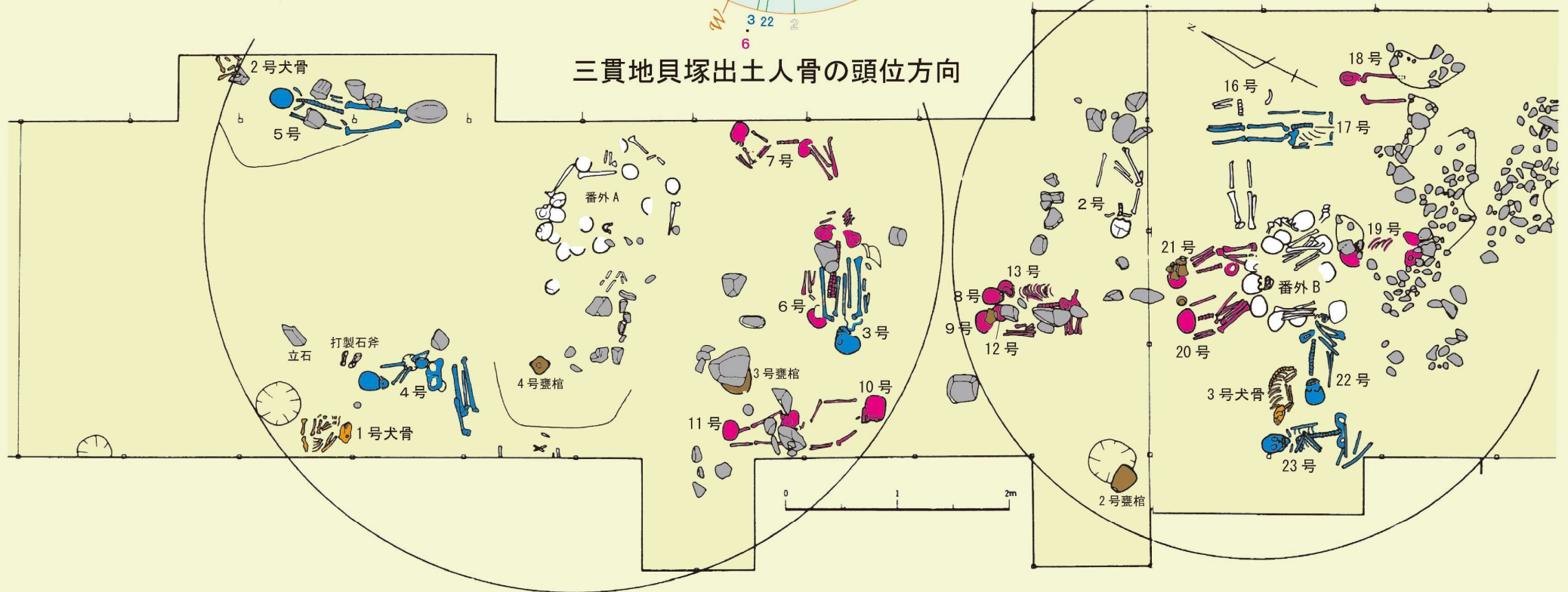
第35図 トレンチ配置および遺構全体図

三貫地貝塚のトレンチ配置図（昭和27年）



- 男性人骨
 - 女性人骨
 - 性別不明人骨
 - 土器
 - 石
- No. 屈葬男性
 - No. 屈葬女性
 - No. 屈葬性別不明
 - (No.) 伸展葬男性
 - (No.) 伸展葬女性
 - (No.) 伸展葬性別不明

三貫地貝塚出土人骨の頭位方向



三貫地貝塚出土人骨の配置図



合葬

右側の
2625号
人骨は
成人女
性

左側の
2625号
人骨は
若年男
性

25号人骨の頭部

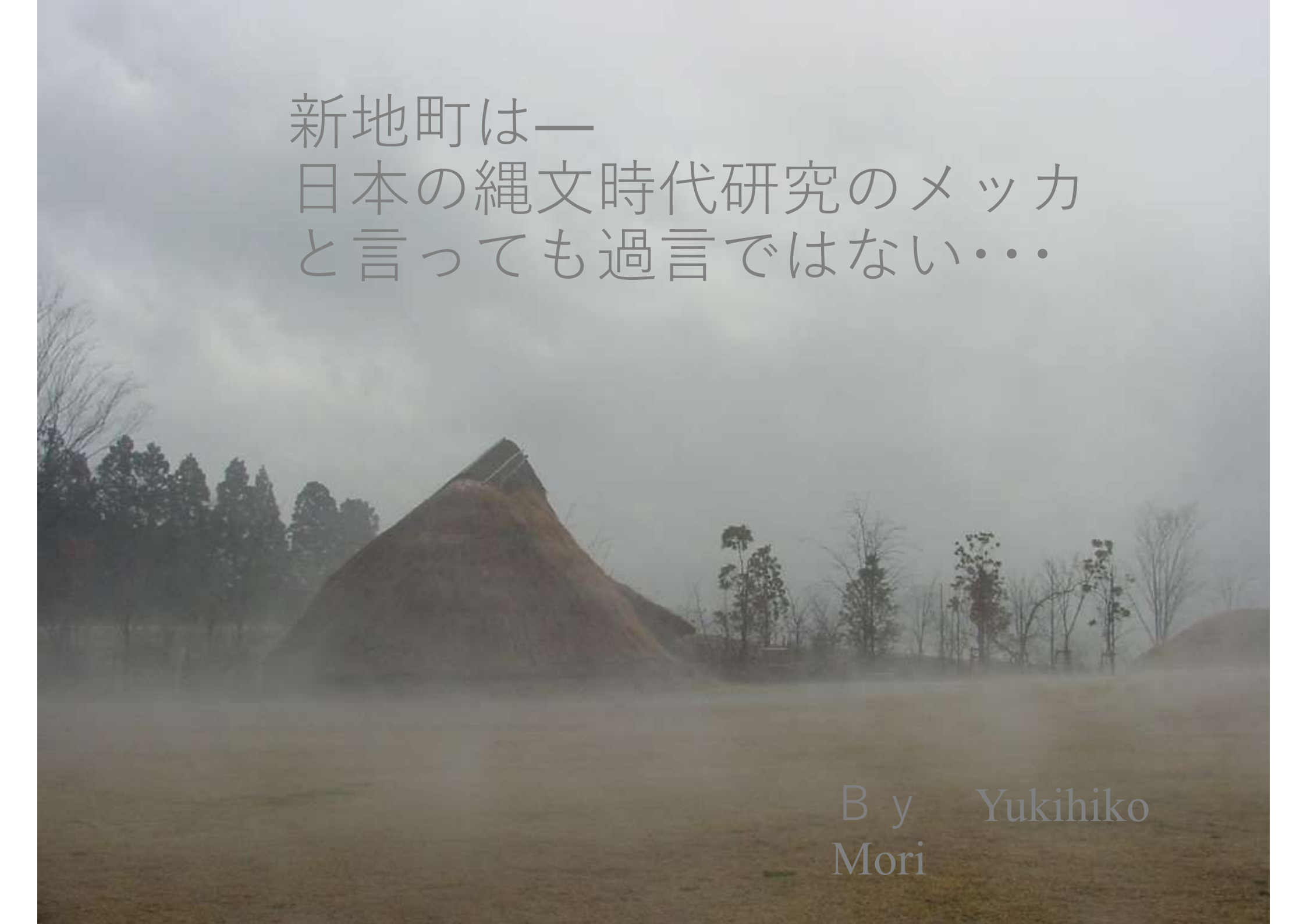




25号人骨の頭部復元



土面 新地町三貫地貝塚



新地町は—
日本の縄文時代研究のメッカ
と言っても過言ではない・・・

By Yukihiro
Mori